



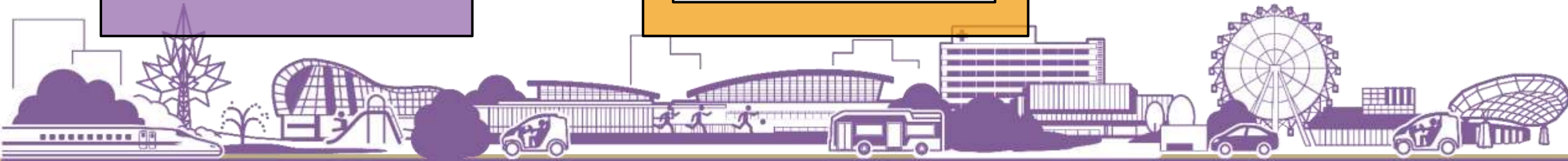
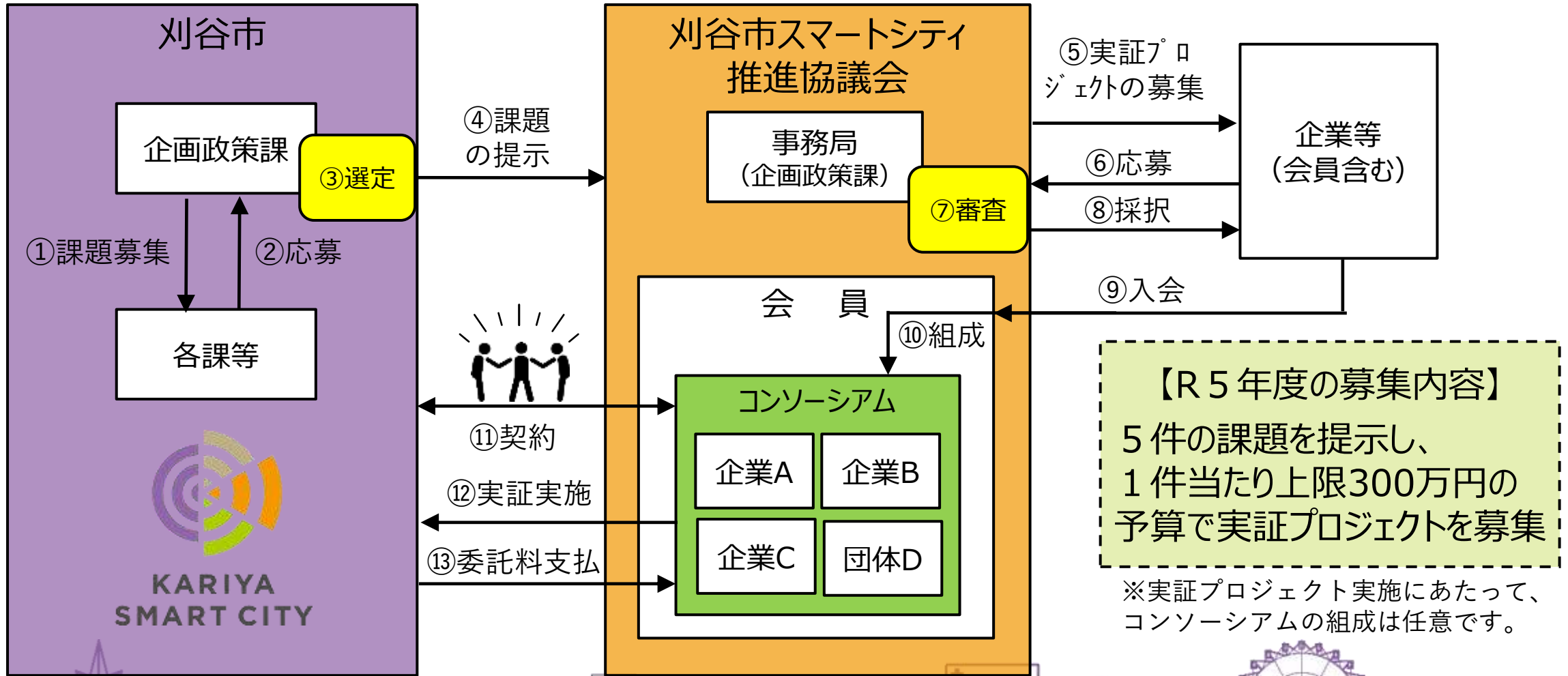
刈谷スマートシティ
KARIYA SMART CITY

【資料3】

課題解決型実証プロジェクトの 募集について

令和5年3月24日

課題解決型実証プロジェクト実施スキーム



実証プロジェクトを募集する課題

課題名	担当課	概要
災害時の避難所受付のスマート化	危機管理課	本市の避難所は昭和時代から変わらないアナログな手法で運営しており、受付は避難者自身が登録票を手書きで記入してもらう、避難所と災害対策本部でリアルタイムに避難者数の把握ができないなどといった状況が続いているため、 システム等を活用して効率的な避難所運営を行いたい。
ICTを活用した安心安全な病児・病後児保育事業	子育て支援課	本市の 病児・病後児保育事業 は、利用予約を電話で行っているため、限られた受付時間にしか予約が受け付けられない、気軽に医師に病状を相談できる仕組みが欲しい、保護者への子どもの様子をわかりやすく伝えたい、という様々な課題があり、 ICTを活用してこれらの課題を解決したい。
バス利用者の乗降(OD)調査	都市交通課	現在、バスの利用者の把握は、各便別で各停留所で乗車した人数を運転手が記録する形でデータをとっており、乗車人数は把握しているが、どこで乗ってどこで降りているかが把握できないため、 各バス停の降車人数を把握するとともに、乗車した人がどのバス停で降車するのかをデータで把握することで、路線の再編に活用したい。
岩ヶ池公園駐車場の効率的な運用	公園緑地課	岩ヶ池公園（刈谷ハイウェイオアシス）の駐車場 では、公園に近い駐車場はすぐに満車になることが多い一方で、一番広い県道を挟んだ駐車場では駐車スペースに余裕のある状態が多いため、 駐車場の位置と空き状況を運転者に周知し、誘導することで駐車場を有効活用するとともにスマートICへの誤侵入を防止したい。
水道管の効率的な維持管理と更新	水道課	漏水の発見には、市民からの通報がメインで、早期発見と漏水に伴う事故の予防が難しい状況にある。また、ほとんどの管路は、地中に埋設されて目視が出来ないため、点検による状態把握が困難である。 早期に漏水箇所を検知する仕組みを活用して効率的な水道管の維持管理と更新を行い、漏水を未然に防ぎたい。

内 容	日 程
(1) 募集開始日	令和5年4月 5日 (水)
(2) 質問受付締切日	令和5年4月19日 (水)
(3) 質問回答日 (HP掲載)	令和5年4月26日 (水)
(4) 企画提案書提出締切日	令和5年5月12日 (金)
(5) 一次審査 (書類選考)	令和5年5月中旬～6月上旬
(6) 二次審査 (面談)	令和5年6月上旬～下旬
(7) 候補者決定	令和5年6月下旬
(8) 正式採択	令和5年7月中旬
(9) 実証実施	令和5年7月～令和6年2月上旬
(10) 完了報告 (書類提出)	令和6年3月上旬



アイデア募集をするものーその1

以下の課題については、解決に資するソリューションのアイデアについて募集を行う。



課題名	担当課	概要
災害対策本部機能の強化・更新について	危機管理課	災害対策本部にある現大型表示装置が旧式化・老朽化しているため、現在機器の更新を検討している。迅速な意思決定を行うために、災害対応に必要な現場の状況をリアルタイムに確認し、災害情報、被害情報を一元的に管理するためには、どのような機器やシステムを導入し、どのような仕組みを構築すべきか検討するための情報がほしい。
日常の消費行動の可視化、分析	商工業振興課	新型コロナウイルスの感染拡大の影響で刈谷駅周辺の人の流れは変化したと思われるが、実際にどのような変化があったのか把握できていない。混んでいる道、どういう人が、どういう店で時間帯、世代、回遊等様々な情報を得て、商業者が効果的な経営戦略を考えるためのツールとして活用したい。
健康づくりに特化した公園整備	公園緑地課	刈谷豊田総合病院に隣接した場所に、「健康」をテーマに新たな公園の整備を予定している。公園を利用する度に、健康ポイントが貯まり、地域や病院で利用できるポイントや景品に交換できる特典を設けることやリハビリに公園の健康遊具の利用を取り入れ、状況を病院で把握することなどにより、公園を利用することに意欲を感じ、利用が促され、健康で豊かな暮らしの実現に繋げるような取組を検討したい。
昼間の刈谷駅ににぎわいを	市街地整備課	刈谷駅周辺は再開発事業に併せ多様な業種の店舗の導入を図るも、通勤利用が多いため、居酒屋の出店に偏り、昼間の人通りが少なくにぎわいが感じられない。シェアレストラン支援マッチングサイトや、AIカメラを用いた人流分析を活用して現状把握と昼間の営業の実証実験を繰り返し行い、その結果を用いて効果的な場所での昼間の出店を誘致していきたい。



※各課題の詳細については、令和5年4月5日付で刈谷市のホームページに掲載予定。

アイデア募集をするものーその2

以下の課題については、解決に資するソリューションのアイデアについて募集を行う。

課題名	担当課	概要
優建事業の効果検証	市街地整備課	優良建築物等整備事業に対して、本市のまちづくりに寄与することを要件の一つとして、本市は補助金を交付しているが、事業完了後の効果測定は事業計画において算出されたB / Cを参考指標としているのみで、事業完了後の効果測定は特に行うことができていない。まちづくりへの寄与度を測る指標として、事業前後の来街者集及び滞在時間のデータに基づく「にぎわい創出度」を設定し、優建事業の採択や補助率に反映させたい。
下水道本管の点検・調査の自動化	下水道課	老朽化した下水道本管の点検・調査を行っているが、施設の異常や緊急度判定は調査員による視認により行っているため、多くの人件費が必要となっているほか、判定する調査員によりバラつきが生じているため、AIカメラを活用してカメラ画像から劣化の特徴や劣化度合を捉え判定を自動化することで、判定にかかる時間を省力化したい。
下水道管の老朽化に伴う不明水対策	下水道課	下水道管の老朽化等に伴う不明水（破損箇所や接続部からの雨水や地下水の流入、誤接続による排水以外の浸入水）の発生箇所を早期かつ確実に特定したい。



※各課題の詳細については、令和5年4月5日付で刈谷市のホームページに掲載予定。

実証実験実施パターン

	課題解決型実証	アイデア募集	フィールド提供型実証
募集時期	毎年4月	毎年4月	随時
募集締切	5月中旬	特に締切は設けない	特に締切は設けない
応募方法	「課題解決型実証プロジェクト募集要領」に基づき、企画提案書（様式あり）を提出	<ul style="list-style-type: none"> 電話またはメールで企画政策課へ連絡 提案資料の様式は問わない 	<ul style="list-style-type: none"> 電話またはメールで企画政策課へ連絡 提案資料の様式は問わない
予算	刈谷市	課題解決に資する取組となると判断された場合は、刈谷市の予算にて実証プロジェクトを実施する可能性がある （R6年度に実証を実施する場合は、R5年9月までに実施の判断が必要）	提案企業等
予算額	1件当たり上限300万円 （令和5年度）	実証プロジェクトを実施する場合は刈谷市が必要額の予算要求を行う	—
実証実施時期	当年度中 （概ね7月から2月の間）	予算要求の翌年度	随時

※これら以外の個別に検討を進めている案件については、必要に応じて刈谷市で予算を確保し、実証を実施する。